

*機械器具 (21) 内臓機能検査用器具
*管理医療機器 特定保守管理医療機器

*一般的名称：ピークフロースパイロメータ *JMDN コード：31300000

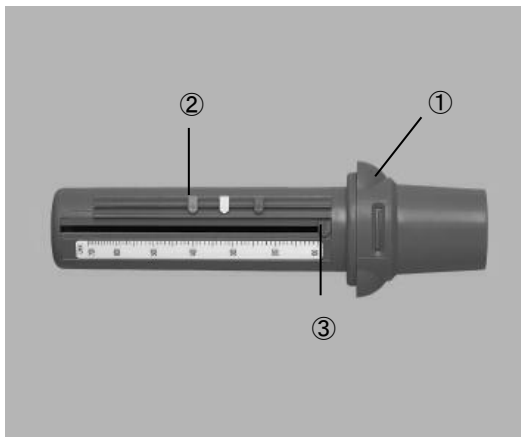
エアゾーン・ピークフローメーター

【禁忌・禁止】

喘息発作時のピークフロー測定は急性気管支狭窄や咳を誘発し、心肺停止を起こす可能性がありますので、発作時の測定は行わないこと。

* 【形状・構造及び原理】

1. 外観図



2. 組 成

- ① 本体 (ABS 樹脂)
- ② ゾーンマーカー (ABS 樹脂)
- ③ ポインター (ポリプロピレン)

* 【使用目的、効能又は効果】

本製品は、喘息等の病状を知る重要な指標の一つであるピークフロー値 (最大呼気流量) を測定する、携帯性に優れた器具です。ゾーンマーカーを装着することにより、気道閉塞の増悪の度合いが一目でわかります。

定期的継続的な測定・記録することにより、医師の診断と治療、また患者の喘息発作の予知と適切な予防に役立ちます。

- ・測定範囲：60～720 L/min
- ・目盛り：ATS 目盛り

【操作方法又は使用方法等】

- (1) ポインター (指針) を溝の一番端 (マウスピース側) にセットします。
- (2) 本体を水平に持ち、回りから息が漏れないように口にくわえ、息を深く吸いこんでから、できるだけ強く速く息を吐き出します。
- (3) 口から離し、停止したポインターの目盛りを読み取ります。
- (4) ポインターをゼロ位置に戻します。
- (5) 上記 (2)、(3)、(4) を 2 回繰り返し、3 回のうち一番大きい測定値を記録します。

【使用上の注意】

- (1) ゾーンポインターの装着、取り外しについては、医師の指示に従って下さい。(装着操作は簡単)
- (2) 常に清潔に保って下さい。
- (3) 熱湯に浸けないで下さい (煮沸消毒はできません)。
- (4) 医師の指導のもとに、手技に熟練した者が適切な使い方を被験者に指導すること。最初の来院時および再来時に被験者にさせて、訓練を受けた人がそれを観察する。
- (5) 被験者に、ピークフロー測定値をいつどのように記録するのかを、症状など関連する他の情報もあわせて指導する。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

貯蔵・保管方法

- (1) 暫く使用しない時は、保管前に洗浄して下さい。
- (2) 使用期限：使用開始後 2 年 (自己認証による。耐用性として 4,000 回以上使用しても精度変動は±2%を越えません。)

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄

- (1) 洗剤液 (台所用合成洗剤等) を入れたぬるま湯に、2～3 分間浸します (5 分以上、入れておかないで下さい)。
- (2) そのまま中でゆすって洗浄します。
- (3) 洗剤は、ぬるま湯で完全に洗い流して下さい。
- (4) 乾いた布で水滴を拭き取り、完全に乾燥させて下さい。

2. 消毒・滅菌

- (1) 消毒薬で消毒できます。
- (2) 消毒後は、水でよく洗い流して下さい。

【包装】

1 本/箱 (化粧箱)

【主要文献及び文献請求先】

松吉医科器械株式会社

**住所：〒113-8520 東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3F

**電話：03-5816-8819

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売者

松吉医科器械株式会社

**住所：〒113-8520 東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3F

**電話：03-5816-8819

製造業者

Clement Clarke Int.Ltd (イギリス)